

タイトル：『 あなたのあたまたのビタミン剤 』～楽習が活動を変える～

キーワード

学習療法
活動時間の拡大
根拠あるケアの提供

キーワードについては必ず3つ記入の事！！

特養、養護、軽費、ケアハウス、デイ、小規模多機能、GH、居宅老健、その他 いずれかを記載

施設種別	デイ	施設名	デイスーパーセンター シンフォニー
------	----	-----	-------------------

研究者 (取組に関わった方のお名前5名まで)	氏名	職種	備考
	① 岩館 唯称	介護職員(学習マスター)	
	② 安達 恭平	生活相談員兼介護職員(学習実践士)	
	③ 長倉 紀代美	看護職員(学習実践士)	
	④ 柴田 麻里衣	看護職員(学習実践士)	
	⑤ 五十嵐 ひろみ	介護職員(学習実践士)	

施設の概要

※ここに記載した内容のうち、発表内容に直接重要な関係を持たない事項については、本資料をもって発表の際の説明から省略してください。

設置主体	社会福祉法人	経営主体	社会福祉法人
開設年月日	平成15年4月1日	所在市町村	函館市
市町村人口	256,443 人	65歳以上人口(高齢化率)	89,705人(高齢化率 35%)
利用者定員数	25 人	利用者平均年齢	88 歳
職員数	7 人	職員数内訳	管理者 1名 生活相談員(兼務含) 2名 介護職(兼務含) 4名 看護職 2名
併設施設・事業	特養・短期入所生活介護・居宅・訪問・生活支援ハウス		
施設のサービスの概要	営業日：月～金曜日 提供時間：9：30～15：30 定員：25名		

発表の概要

<p>①取り組んだ課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体機能や認知機能の低下により、集団での運動やレクリエーション活動に参加が困難な御利用者様に対して、機能改善のアプローチを提供したいと考えたのが取組みのきっかけです。 <p>②具体的な取り組み</p> <p>H31年1月22日 学習療法実践士研修にて実践士資格取得。 H31年1月23日 学習療法マスター研修実施。 H31年2月 4日 推進会議にて導入に向けての最終打ち合わせ。 H31年2月2週目 ご利用者様又はご家族様に学習療法についての事前説明を行い、契約を交わす。 H31年2月3週目 楽習診断、MMSE・FABテストを実施。実施者の教材を選定。 H31年2月4週目 『楽習クラブ』の会場作り。 H31年3月 7日 学習療法実施開始。日々の教材をご自宅に持ち帰り実施状況を報告。 H31年4月 2日 くもん担当者参加による月次検討会の開催。 H31年4月24日 月次検討会(2回目)を開催。マスターが中心となり実施状況等を集約。 ※現在に至ります。</p> <p>対象者：週4日以上御利用されている方(要介護) 人数：4名 実施時間：13:00～15:00(一組約30分に設定) 実施内容：実践士1名にご利用者様2名 読み書き・計算・数字盤を実施。 費用：学習療法教材費2160円(毎月)※ご利用者様負担 必要物品：長テーブル・椅子・パーテーション・日めくり 時計・教材保管用棚・数字盤・筆記用具等</p>	<p>③活動の成果と評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様の表情に笑顔と発語が増加。また、日々の学習療法の記録から数値の改善等が見られている。 ・同一の技法を用いる事で気付きが増え、職員間のディスカッションが増えた。 ・認知機能及び身体機能の低下が見られるご利用者様の活動時間の拡大。 ・新たな活動が出来た事で職員とご家族様との会話も増えた。 <p>④今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習療法実施者の拡大。 ・評価したものを効果的に活用できる取り組みの実施。 ・既存の評価方法との組み合わせ。 <p>⑤参考資料など</p>
--	---

※「応募用紙」とともにメールにて【4月26日(金)】までにご提出ください→ roushikyo@dosyakyo.or.jp まで。